

「2018 日本 タイ王国 ティーンエイジ アンバサダー映像報告会」について

平成31年4月20日（土）

津島高校の生徒10名が昨年度参加した「日本 タイ王国 ティーンエイジ アンバサダー」の映像報告会が、4月20日（土）に名古屋大学附属高等学校で行われました。

当日は、本校の生徒9名とその保護者及び名古屋大学附属高等学校の生徒とその保護者、そして引率教員が参加しました。

最初に、映像で昨年度の東京プログラムとバンコク都のプログラムを振り返りました。東京では、外務省を訪問でき外務大臣をはじめ国会議員の方の御挨拶を直接拝聴したこと、バンコク都では、教育相を表敬訪問し御挨拶をいただいたことを映像で振り返りました。両国の訪問最終日に行われたフェアウェルパーティーで行った各校の出し物は、思い出深いものになりました。

バディと過ごしたホームステイ時の活動も取り上げられました。本校生徒の中には、留学生と家族みんなで京都を訪問した家庭もありました。

また、今回のテーマである「防災」に関わる施設に両国とも訪問して、大規模災害時の対応について過去の災害に基づく対策を共有しました。

次に、参加生徒代表として2年生の男子生徒がイオン1%クラブと引率の先生方への謝意と、プログラムで感じたことを発表しました。元々予定されていた生徒以外も感想等を求められ、本校からは2年生の女子と2年生の男子が、ランダムに選ばれましたが、両名とも堂々と自分の体験したことをしっかり伝えていました。

参加した生徒の保護者代表の方からと各校の代表者が謝意を述べた後、参加者全員で記念撮影を行って会を終了しました。今回でプログラムは全て終了しましたが、参加した生徒がこのプログラムによって確実に成長したことが実感できる報告会でした。

彼らには、「感謝」の表し方は本プログラムを企画し本校を選んでいただいたイオン1%クラブの方たちへのものだけでなく、自分自身の周囲の人にどのような経験をしたのか伝えていくことがことも、広い意味で「感謝」の表し方になると伝えました。彼らもそれを理解して、これからも本校を代表する素敵なアンバサダーとなってくれることでしょう。

最後になりますが、名古屋大学附属高等学校の参加した皆さん、イオン1%クラブ、そして本校参加者の保護者の皆様にお礼を申し上げます。生徒達に素敵な思い出をいただきありがとうございました。

